

長期療養者の定期予防接種

長期にわたり療養を必要とする疾病にかかったこと等（厚生労働省令で定める特別な事情）により、定期の予防接種の機会を逃した人については、健康支援課にて手続きをすることで、指定の期間内で接種ができます。詳細は、健康支援課へ。



習志野市が実施する定期外予防接種

下記の予防接種については定期外予防接種として、無料で予防接種を受けることができます。事前に、母子健康手帳を持参の上、健康支援課にて**手続きが必要**です。

また、万が一、予防接種による健康被害が起こった場合は、千葉県市町村総合事務組合の条例が適用となり被害者救済制度が受けられます。（*定期外予防接種は習志野市内の医療機関のみで受けられます。）

予防接種名	対象者
麻しん・風しん 混合（MR） 麻しん 風しん	① 平成15年4月2日以降に生まれた人で、麻しんまたは風しんの予防接種を1回も受けていない人 ただし、0歳児、1期、2期対象者は除く ② 小学1年生（平成23年4月2日生～平成24年4月1日生）で平成29年度の2期の予防接種を受けていない人

感染症にかかったときの次の予防接種が受けられるようになるまでの間隔

感染症にかかったお子さんが予防接種を受ける場合は、下記の表を参考に、病気が治った後、一定の期間をあけてからお受けください。

病名	潜伏期間	治癒後から予防接種までの間隔	病名	潜伏期間	治癒後から予防接種までの間隔
麻しん（はしか）	9日～11日	4週間	伝染性紅斑（りんご病）	10日～20日	1～2週間
風しん	14日～21日	2～4週間	手足口病	3日～5日	1～2週間
おたふくかぜ	12日～25日	2～4週間	ヘルパンギーナ	2日～4日	1～2週間
水ぼうそう	10日～21日	2～4週間	突発性発疹	約10日	1～2週間
溶連菌感染症	1日～4日	※	伝染性膿痂疹（とびひ）	不明	※（抗生剤内服）
百日せき	通常7日 （10日以内）	※	インフルエンザ	7日以内	1～2週間

1) ※細菌感染症 抗生剤内服後1～2週間（小児の予防接種Q&Aより渡辺博編集2012）

2) γ-グロブリン大量静注療法（川崎病・特発性血小板減少性紫斑病等）

不活化ワクチン、BCG、経口生ワクチンは影響を受けないので、治癒後すぐに接種可能ではあるが、原則すべての予防接種は3ヵ月以上あける。また他の生ワクチンはγ-GI 2g/kgの場合6ヵ月、4g/kgの場合は9ヵ月あける。（小児科臨床ピクシス 予防接種2011）

任意接種について

おたふく、ロタ等の任意予防接種については全額自己負担です。接種希望の場合はかかりつけの医療機関にご相談ください。別冊「予防接種と子どもの健康」をご参照ください。

骨髄移植後に医師から定期接種の再接種が必要と言われた方は、健康支援課にご相談ください。



ナラシド♪からのお願いです！

病気になったら、かかりつけの先生に確認してから、
予防接種をお受けください！・・・☆☆☆



異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔

予防接種で使うワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、異なった種類のワクチンを接種する場合には接種間隔を守ることが必要です。異なった種類のワクチンを、特に急いで接種する必要がある場合は、かかりつけの医療機関にご相談ください。

不活化ワクチン	生ワクチン
ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ混合(DPT-IPV)、ジフテリア・破傷風混合(DT)、日本脳炎、不活化ポリオ(IPV)、ヒブ、小児肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス感染症、B型肝炎 インフルエンザ (ただし、任意接種ワクチン)	BCG、麻しん風しん混合(MR)、麻しん、風しん、水ぼうそう おたふくかぜ、ロタウイルス (ただし、任意接種ワクチン)

間を6日(1週間)
以上あける

間を27日(4週間)
以上あける

異なった種類*の予防接種が受けられます

※DPT-IPV と不活化ポリオ(IPV)、DPT-IPV と DT といった同じ成分の入った予防接種はそれぞれに定められた間隔をあけてください。

同じ種類のワクチンを複数回接種する場合は、
それぞれに定められた間隔がありますので気を付けてください。

*次ページの各予防接種の受け方をよく読んで受けてください。



副反応がおこったら



予防接種を受けたあとに“あらっ！”と思ったら・・・

まず接種した医療機関にお問い合わせしてください！

1. 通常みられる反応

ワクチンの種類によっても異なりますが、発熱、接種局所の発赤・腫脹(腫れ)、硬結(しこり)、発疹などが比較的高い頻度(数%から数十%)で認められます。通常、数日以内に自然に治るので心配は不要です。

2. 重い副反応

予防接種を受けたあと、接種局所のひどいはれ、高熱、ひきつけなどの症状があったら、医師の診察を受けてください。お子さんの症状が予防接種後副反応報告基準に該当する場合は、医師から厚生労働省へ副反応の報告がされます。

ワクチンの種類によっては、極めてまれ(百万から数百万に1人程度)に脳炎や神経障害などの重い副反応が生じることもあります。また、1年以上たって副反応が発症する場合があります。このような場合に厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済制度の給付の対象となります。制度の詳細については、健康支援課にご相談ください。

(参考) 紛れ込み反応

予防接種を受けたしばらく後に、何らかの症状が出現すれば、予防接種が原因ではないかと疑われることがあります。しかし、たまたま同じ時期に発症した他の感染症などが原因であることが明らかになることもあります。これを「紛れ込み反応」と言います。

◆予防接種は「誕生日の前日から」接種可能 「未満」の場合は、「誕生日の前日まで」接種可能

【乳幼児対象の予防接種】

予防接種名	対象年齢	望ましい受け方		接種予定の日	
ヒブ 感染症※1	生後2ヵ月～ 5歳未満	初回	生後2～7ヵ月未満までに接種開始 27～56日(4～8週間)の間隔をあけて 生後1歳未満までに 3回 接種	1回	年 月 日
		追加	3回目終了後7～13ヵ月の間隔をあけて 1回 接種	追加	年 月 日
小児肺炎球菌 感染症※2	生後2ヵ月～ 5歳未満	初回	生後2～7ヵ月未満までに接種開始 27日(4週間)以上の間隔をあけて 生後1歳未満までに 3回 接種	1回	年 月 日
		追加	3回目終了後60日以上あけて、生後12ヵ月～15ヵ月に 1回 接種	追加	年 月 日
B型肝炎	1歳未満	生後2ヵ月～9ヵ月未満の間に 4週間以上の間隔で 2回 接種 1回目から20週以上経過してから 3回目 接種		1回	年 月 日
ジフテリア・ 百日せき・ 破傷風・ポリオ (DPT-IPV)※3	生後3ヵ月～ 7歳6ヵ月未満	1期 初回	20～56日(3～8週間)の間隔をあけて 生後1歳未満までに 3回 接種を終了	1回	年 月 日
		1期 追加	1期初回接種終了後から12～18ヵ月の間隔をあけて 1回 接種	追加	年 月 日
結核(BCG)	1歳未満	生後5～8ヵ月の間に 1回		1回	年 月 日
麻しん・風しん 混合(MR)※4	1歳～2歳未満	1期	1回 接種	1回	年 月 日
	H24年4月2日～ H25年4月1日生	2期	平成30年4月1日～平成31年3月31日までに1回 (平成30年度の対象者です)	1回	年 月 日
水痘 (水ぼうそう)	1歳～3歳未満	初回	生後12～15ヵ月までに 1回 接種	1回	年 月 日
		追加	初回接種終了後6～12ヵ月の間隔をあけて 1回 接種	1回	年 月 日
日本脳炎※5	生後6ヵ月～ 7歳6ヵ月未満	1期 初回	3歳で、6～28日(1～4週間)の間隔をあけて 2回 接種 (生後6ヵ月から接種可)	1回	年 月 日
		1期 追加	1期初回(2回)終了後おおむね1年後(11～13ヵ月)に 1回 接種(4歳)	追加	年 月 日

※1 ヒブワクチン接種の開始が、

- ① 生後7ヵ月～12ヵ月未満で開始：初回2回接種+追加接種1回
- ② 1歳以上で開始：1回接種で終了

※2 小児肺炎球菌ワクチン接種の開始が、

- ① 生後7ヵ月～12ヵ月未満で開始：初回2回接種+追加接種1回(生後12ヵ月以降)
- ② 1歳～2歳未満で開始：60日以上の間隔で2回接種
- ③ 2歳以上で開始：1回接種で終了

※3 生ポリオ(2回)もしくは不活化ポリオ(4回)、DPT(4回)接種している場合は完了。完了していない場合は健康支援課へ相談。

※4 麻しん(はしか)または風しんにかかったことが明らかの場合、かかっていない単抗原ワクチンを選択することも可。

※5 接種量が年齢によって異なります。6ヵ月～3歳未満：0.25ml、3歳以上：0.5ml

【児童生徒対象の予防接種】

予防接種名	対象年齢	望ましい受け方		接種予定の日	
日本脳炎	9歳～ 13歳未満	2期	1回接種(9歳) 小学校4年生のお子さんに個別で予診票を送付	1回	年 月 日
	特例措置	平成19年4月1日までに生まれた20歳未満の人 ⇒全4回(1期：3回、2期：1回)を完了していない場合は、不足分を接種可 平成19年4月2日～平成21年10月1日までに生まれた人で、かつ年齢が9～13歳未満の人 ⇒1期：3回を完了していない場合は、不足分を接種可			
ジフテリア・ 破傷風(DT)	11歳～ 13歳未満	2期	1回接種 小学校6年生のお子さんに個別で予診票を送付	1回	年 月 日
ヒトパピローマ ウイルス感染症 (子宮頸がん)	小学6年生～ 高校1年生 相当の女子	サーバリックス	1回目から1ヵ月後に2回目 1回目から6ヵ月後に3回目を接種	中学1年生相当 (平成17年4月2日～ 平成18年4月1日生)	
		ガーダシル	1回目から2ヵ月後に2回目 1回目から6ヵ月後に3回目を接種		

◆平成25年6月14日よりヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)予防接種は、積極的なお勧めはしていません。

詳細は健康支援課へ。